



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東  
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044 (850) 1320  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,915	33.3	293	60.8	295	58.5	197	55.4
2022年3月期第2四半期	1,437	1.9	182	△7.2	186	△5.0	127	△5.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 197百万円 (55.4%) 2022年3月期第2四半期 127百万円 (△5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	85.02	83.18
2022年3月期第2四半期	53.47	52.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,089	2,708	38.2
2022年3月期	7,107	2,509	35.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,708百万円 2022年3月期 2,509百万円

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,860	29.6	535	21.8	540	22.9	365	27.2	156.79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,436,200株	2022年3月期	2,436,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	107,616株	2022年3月期	109,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,327,378株	2022年3月期2Q	2,381,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(企業結合等関係)	8
3. 補足説明	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに持ち直しました。鉱工業生産は、供給制約の影響で弱い動きとなっていたものの、中国のロックダウンの解除を受けて、自動車を中心に持ち直しました。設備投資は高水準の企業収益を背景に底堅く推移しました。個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でペットとの生活に癒しを求める動きが強まり、2021年の新規犬猫飼育頭数は過去9年で最多となり、これまで減少傾向にあった犬猫飼育頭数は微増となりました。また、犬猫の高齢化に伴い、疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組みつつ、日頃の診療活動を通じた一次診療施設とのコミュニケーション強化を継続することによって、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。

また、2022年3月に子会社化したしましたテルコム株式会社は、従来通り飼い主や一次診療施設へのサービス提供に努めつつ、当社グループ各社との協体制構築による経営効率改善を進めております。

なお、当社グループが提供する動物の二次診療サービスは急なニーズに応えるものが多いことから、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は、比較的軽微でありました。

その結果、初診数（新規に受け入れた症例数）は3,837件（前年同期比8.4%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は14,009件（前年同期比0.6%減）、手術数は1,154件（前年同期比14.6%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,915,255千円（前年同期比33.3%増）、営業利益は293,185千円（前年同期比60.8%増）、経常利益は295,762千円（前年同期比58.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197,880千円（前年同期比55.4%増）と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,570,176千円となり、前連結会計年度末に比べ30,399千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が83,750千円、売掛金が17,877千円増加した一方で、前渡金が38,036千円、未収入金が11,431千円、未収還付消費税等が14,308千円減少したことによるものであります。固定資産は5,519,533千円となり、前連結会計年度末に比べ48,286千円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は7,089,710千円となり、前連結会計年度末に比べ17,887千円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は968,216千円となり、前連結会計年度末に比べ2,503千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が39,995千円、未払消費税等が11,497千円増加した一方で、未払金が47,575千円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,412,689千円となり、前連結会計年度末に比べ219,271千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済による減少によるものであります。

この結果、負債合計は、4,380,906千円となり、前連結会計年度末に比べ216,768千円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,708,804千円となり、前連結会計年度末に比べ198,880千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加197,880千円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、440,554千円（前年同期比79.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益295,762千円、減価償却費193,666千円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、159,662千円（前年同期比49.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出143,097千円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、197,141千円（前年同期比27.0%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出292,952千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2022年5月12日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,068,595	1,152,346
売掛金及び契約資産	228,993	246,871
商品	119,070	114,273
原材料及び貯蔵品	9,760	7,585
その他	121,148	55,580
貸倒引当金	△7,790	△6,480
流動資産合計	1,539,777	1,570,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,531,803	1,482,297
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	929,346	955,650
有形固定資産合計	4,709,488	4,686,286
無形固定資産		
のれん	203,698	193,513
商標権	435,464	413,690
その他	26,279	23,410
無形固定資産合計	665,442	630,614
投資その他の資産	192,889	202,633
固定資産合計	5,567,820	5,519,533
資産合計	7,107,598	7,089,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,642	61,071
1年内返済予定の長期借入金	546,376	553,723
未払法人税等	88,562	128,558
賞与引当金	79,335	72,317
その他	185,796	152,545
流動負債合計	965,713	968,216
固定負債		
長期借入金	3,375,581	3,175,282
退職給付に係る負債	27,100	30,850
繰延税金負債	165,696	145,882
資産除去債務	40,501	40,722
その他	23,081	19,952
固定負債合計	3,631,961	3,412,689
負債合計	4,597,674	4,380,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	385,500	385,500
資本剰余金	315,717	313,321
利益剰余金	1,994,792	2,192,673
自己株式	△186,086	△182,691
株主資本合計	2,509,923	2,708,804
純資産合計	2,509,923	2,708,804
負債純資産合計	7,107,598	7,089,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,437,292	1,915,255
売上原価	928,215	1,199,778
売上総利益	509,077	715,476
販売費及び一般管理費	326,788	422,291
営業利益	182,289	293,185
営業外収益		
受取家賃	11,680	11,680
物品売却益	—	5,203
その他	1,618	5,343
営業外収益合計	13,298	22,227
営業外費用		
支払利息	6,323	8,968
資金調達費用	1,926	2,362
固定資産除却損	590	8,203
その他	187	116
営業外費用合計	9,029	19,650
経常利益	186,559	295,762
特別損失		
移転関連費用	1,500	—
特別損失合計	1,500	—
税金等調整前四半期純利益	185,059	295,762
法人税等	57,701	97,881
四半期純利益	127,357	197,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,357	197,880

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	127,357	197,880
四半期包括利益	127,357	197,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,357	197,880

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	185,059	295,762
減価償却費	112,351	193,666
のれん償却額	—	10,184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,461	△1,310
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,223	△7,018
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	750	3,750
支払利息	6,323	8,968
資金調達費用	1,926	2,362
固定資産除却損	590	8,203
売上債権の増減額 (△は増加)	8,532	△17,905
棚卸資産の増減額 (△は増加)	484	6,971
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,310	△4,542
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	14,308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,674	11,634
その他	2,907	△2,865
小計	302,703	522,171
利息の受取額	5	5
利息の支払額	△6,283	△8,927
法人税等の還付額	—	7,035
法人税等の支払額	△50,944	△79,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,481	440,554
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△88,206	△143,097
無形固定資産の取得による支出	△227	△1,639
敷金の差入による支出	△15,080	—
保険積立金の積立による支出	△2,982	△15,796
その他	—	871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,496	△159,662
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△269,005	△292,952
リース債務の返済による支出	△397	△3,063
自己株式の取得による支出	△73	—
自己株式の処分による収入	1,250	1,000
その他	△1,649	△2,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,876	△197,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130,891	83,750
現金及び現金同等物の期首残高	1,114,671	968,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	983,780	1,052,346

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2022年3月18日に行われたテルコム株式会社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額489,732千円は、会計処理の確定により286,033千円減少し、203,698千円となっております。また、前連結会計年度末の商標権は435,381千円、固定資産その他に含まれる繰延税金負債は140,687千円それぞれ増加しております。

### 3. 補足説明

当社グループは、動物医療関係事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	1,170,998	81.5	1,283,309	67.0
画像診断サービス	260,199	18.1	230,492	12.0
健康管理機器レンタル・販売サービス	—	—	396,534	20.7
その他	6,095	0.4	4,918	0.3
顧客との契約から生じる収益	1,437,292	100.0	1,915,255	100.0
外部顧客への売上高	1,437,292	100.0	1,915,255	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。